

病院案内

診療科目：精神科 神経科 病床数：230床

診療時間	(受付時間)	月	火	水	木	金	土
9:30~	9:00~11:30	○	○	○	○	○	○
14:00~	13:30~15:30	○	--	--	○	--	--

※休診日：火・水・金・土曜日の午後 日曜日・祝祭日 年末年始・お盆

※面会時間 9:30~16:30



令和6年1月1日

☆お知らせ

メンタルホスピタル鹿屋では、地域での講演、事業所でのメンタルヘルスに関する講演、うつ病などの研修会等お引き受けいたしております。
お気軽にご連絡ください。

☆予約については
初診と木曜日午後
第1週目土曜日
児童思春期外来

診療実績

2023年度	外来患者数	初診	1日平均 外来数	月入院数	月退院数	平均入院 患者数	平均在院 日数
10月	1,816	102	72.6	33	28	214.3	217.8
11月	1,881	88	78.4	32	31	217.2	206.9
12月	1,727	88	72.0	23	31	212.1	243.6
認知症関連：26 (3ヶ月平均)				病床稼働率：93.3% (3ヶ月平均)			

認知症疾患医療センター

専門医療相談窓口 ☎ 0994-36-1870

受付時間：午前9時~午後5時 月~金
(祝日、年末年始を除く)

連携担当員：西迫

主な役割

- ☞ 認知症疾患に関する専門医療相談
- ☞ 鑑別診断とそれに基づく初期対応
- ☞ 合併症・周辺症状への急性期対応
- ☞ かかりつけ医等への研修会の開催
- ☞ 認知症疾患医療連携協議会の開催

編集後記

新年あけましておめでとうございます。皆様、お正月はいかがお過ごしでしたか？コロナ感染症が5類へ移行し近年とは違った年末年始を迎えられた事と思います。これも新しい日常の一つなのでしょうね。私には孫が2人おり、元気もりもりで本当に可愛いです。「なんでこんなに可愛いのかよ 孫という名の宝物…」という歌詞で始まる「孫」という歌がありましたが、まさしくその通り！！この気持ちは孫を持って初めて分かる感情です。孫たちは底なしに明るく元気一杯。純真無垢な澄んだ目で一生懸命頑張っている、そんな姿を見て頑張ろうという気持ちになります。孫たちの元気な姿が私に活力を与えてくれます。



メンタルホスピタル鹿屋

〒893-0037
鹿児島県鹿屋市田崎町 1043-1
☎ 0994-42-3155 fax0994-42-3156

おおすみ 四季いろどり

(医療理念)

1. 地域で必要とされる医療機関を目指し、良質な医療を提供します
2. 患者さん中心としたチーム医療をおこないます
3. 全職員は最良(最善)の医療を提供するために常に自己研鑽します



(基本方針)

1. 精神障害者に対して、救急・急性期治療をはじめとする医療を提供するとともに、リハビリテーションの実施をはじめとする各種社会復帰のための支援を行うことで、公衆衛生の向上を図ります
2. 生活困難者に対し、無料または低額な診療を提供することで、公衆衛生の向上を図ります
3. 地域住民を対象にした予防措置や治療方法等の普及・啓発の実施、各種相談への対応を行うことで精神科医療への理解促進と地域の福祉向上を図ります
4. 精神科医療の担い手確保を視野においた医療従事者の養成および再教育を図ります

(患者さんの権利と責務)

1. 良質な医療を公平に受ける権利があります。
2. 一人の人間として、その人格、価値観などを尊重され、医療提供者との相互関係の下で医療を受ける権利があります。
3. 病気、検査、治療、見直しなどについて、納得できるまで十分な説明と情報を受ける権利があります。
4. 十分な説明と情報提供を受けたうえで、治療方針などを自らの意思で選択する権利があります。
5. 自分の診療記録の開示を求める権利があります。
6. 診療の過程で得られた個人情報の秘密が守られ、病院内での私的な生活を可能な限り他人にさらされない権利があります。
7. 良質な医療を実現するためには、医師をはじめとする医療提供者に対し、患者さん自身の健康に関する情報をできるだけ正確に提供する責務があります。
8. 納得できる医療を受けるために、医療に関する説明を受けてもよく理解できなかったことについて、十分理解できるまで質問する責務があります。
9. すべての患者さんが適切な医療を受けられるようにするため、患者さんは、他の患者さんには、他の患者さんの治療や病院職員による医療提供に支障を与えないよう配慮する責務があります。

No.41 2024年1月号
公益社団法人 いちようの樹
メンタルホスピタル鹿屋

CONTENTS

- ・広報委員会だより
- ・院内行事の紹介
- ・インフォメーション
- ・認知症疾患医療センター事業報告
- ・永年勤続者表彰
- ・その他

2024

謹

賀

新

年

広報委員会だより

新年あけましておめでとうございます。令和6年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。ここ数年、コロナ禍にあって、私共の院内の行事等も長らく制限されてきました。昨年5月より、新型コロナウイルス感染症が2類相当から5類相当に引き下げられことを機に、徐々にコロナ禍以前に戻りつつ、世の中全体が活気を取り戻してきたように感じます。少しばかり明るい兆しが見えかかった矢先に、時代は「地球温暖化から地球沸騰化」へ突入し、いまだ終わりの見えないロシア、ウクライナ戦争に加え、パレスチナ、イスラエル問題と、世界全体が不穏な空気に包まれ始めています。

現在は、変動性、不確実性、複雑性、曖昧性の時代と言われており、この先の未来を想像するのも難しい不透明な時代になっているそうです。不透明な時代、先の見通せない時代だからこそ、今を生きる私たちにとって、「今を大事にする」「今この時から、この先の未来を生きること」の積み重ねを大事にしなければと思う次第です。

さて、広報誌「おおすみ四季いろどり」も初刊から11年目を迎え、皆様のご愛顧のおかげでNo.41号を発行することができました。初刊当初は3名での委員会活動で始まり、この約10年の間には2名での活動期間もあり、苦勞した時期も今はただ懐かしく感じます。No.41号を発行するまでには、色々な意味で広報委員会の積み重ねができたのではないかと考えております。今後も、広報に伴う委員会活動の積み重ねを大事に紙面やホームページを通じて、皆様へ当院の情報発信に努めてまいります。

改めて、本年もご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

●認知症疾患医療センター事業報告

R5年度 認知症研修会

【研修内容】

「認知症の中核症状とBPSD、診断と治療まで」

講師：石塚貴周 先生

(鹿児島県基幹型認知症疾患医療センター 副センター長)

日時：令和5年12月15日(金) 14:00~15:30

会場：鹿屋商工会議所

参加者：62名



石塚先生をお招きし、認知症研修会を開催致しました。認知症の症状やBPSD、その背景について症例を交えて具体的に説明して頂きました。特に治療については薬物療法と非薬物療法のそれぞれに関して、またレカネマブについて伺うことができました。認知症の方やそのご家族の話を丁寧に聞くことが診断と治療に何より大切であることを改めて認識する機会となりました。

ご参加頂いた方々にも「分かりやすかった」「また資料を読み直したい」「業務に活かしたい」という感想を多数頂戴しました。そして、運営する私共もしっかりと講演頂いた内容を日々の業務に活かしていきたいと思う充実した研修の時間でした。

☆院内行事の紹介

●R5. 11. 15 「応急手当講習研修会」

当院看護部の応急手当普及員が講師となり、研修会を行いました。



●R5. 11. 16 「院内レクリエーション大会」

各レクリエーションを体育館で行い、32名の患者様が参加されました。



●R5. 11. 30 「第27回 消火競技大会」

当院から3チーム参加し、【屋内消火栓の部】で第1位と第5位、【消火器の部】で第3位と全チーム入賞致しました。今後も防火意識を高め、自主防火体制の推進を図っていききたいと思います。



●R5年度 公益社団法人 いちょうの樹 合同学会

12月16日(土)、第13回合同学会が当院会議室とメンタルホスピタル鹿児島多目的ホールでWeb開催されました。第1部は当院から3演題、第2部はメンタルホスピタル鹿児島から3演題が発表されました。それぞれの取り組みや問題点、解決の方法等知る機会となり、これからの業務に活かしていきたいと心新たにできる機会となりました。

第1部：演題 <メンタルホスピタル鹿屋>

- ① 社会不安障害を示す境界知能児へのカウンセリング
～言語コミュニケーションが難しい中学生女兒の一例～
診療技術部 臨床心理科 今川 真実
- ② 病棟看護師に行動制限最小化を意識してもらう為の
隔離患者評価表の必要性
看護部 4病棟 小林 友哉 他
- ③ ポジショニング学習を通しての意識の変化とその効果
看護部 2病棟 若松 七星



●R5年度 永年勤続者表彰

在籍年数	30年	所属	看護部	別府 一騎さん
在籍年数	25年	所属	看護部	福ヶ崎 となえさん
在籍年数	20年	所属	看護部	中村 修さん
在籍年数	20年	所属	看護部	村山 富士子さん



長年のご功績に心より敬意を表し、お祝い申し上げます。